

3月25日：ひとりひとりのためのニュース

No. 5

発行：社会福祉法人くわの福祉会
特別養護老人ホームおおつき内

昨日は21. 老福連より救援物資第2弾が届いたり、様々な業者さんからも物資を搬入していただいたり、もちろん地域の方々からの心ある作物や物品の協力援助もいただきながら、現在特養おおつきの生活が守られています。その一方で徐々にですが、地域への貢献として届いた救援物資を必要とする地域の様々なところへ届けて回る役目も行ない始めています。施設内だけでなく、もっとも地域がまるごと元気になってもらいたいと思う中での行動が必要とされているのです。

① 皆さんの元へ届けます ～地域支援物資の活動～

◆被災地は皆同じ悩みを持っていました。ガソリン不足、食料運搬、おむつや飲料水の物品不足などなど。そんな中特養おおつきは施設に届いた様々な救援物資を必要なところへ分けて届けようと行動を始めました。まずは、同じ市内の特養やグループホームの施設へ。先方がガソリンがない中でのおおつき自らの行動でした。また、郡山市内において水道水より放射性物質が検出された情報から、地域の保育園・幼稚園の3か所へ飲料水を配布しました。「これで乳幼児の園児たちに安心してミルクなども飲ませることができます。」と園長が感激されていました。特養おおつきの中にも乳幼児(1歳未満)を育てている職員がいます。もちろん対象の職員のご家族にも水の配給を行ないました。未来ある命ですからどうぞ元気に育てほしいと願うばかりです。

50箱以上の水が集まりました。



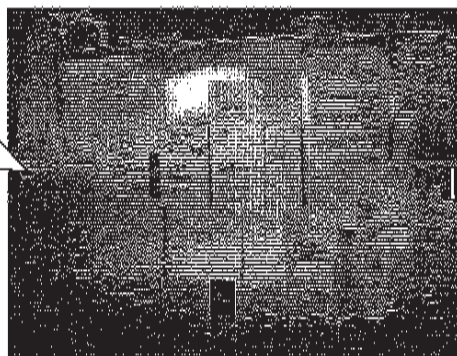
オムツや食料の備蓄もなされています。



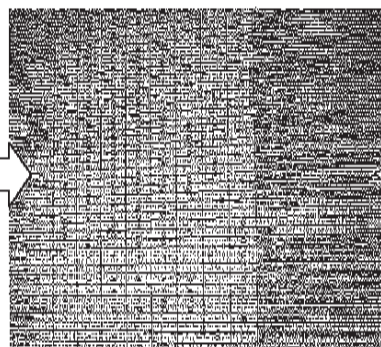
② 利用者の願い。早く届け！ ～通所サービス事業所各所で再開～

◆おおつき介護保険センターでは、震災直後から介護サービス利用者が多い「通所系サービス事業所」の事業安否確認を連絡を取るごとに一覧をボードで確認し合ってきました。現在市内74の事業所のうち53事業所で再開を確認。施設内の衛生面や建物への不具合、ガソリンの供給不足からの限定付きでの再開を行なう事業所も少なくありません。ご利用者の中には週で数回ご利用される方もいる状況で、ご家族にとってもサービス再開は強く切望していることです。そんな中、介護保険センターの職員は登録174名の訪問実施を全て行ない生活の現状と要望を聞き終えました。来週からまた新たに6事業所が再開予定となっています。

先週まではFAX用紙の山でした。



今週から随時更新しています。明日からまた新たな再開があります。



③ 地域での生活は・・・今 ～地域包括支援センターの活動～

◆本日、先日も紙面でお伝えした地域包括支援センターの地域の方への「配食サービス」活動に同行しました。市の管轄のセンターへ必要な数の食糧物資をいただきに各地域包括支援センター職員がお昼時に集まっています。大槻・逢瀬地区では7世帯分の配達ですが、地域によっては約50世帯分の物資をもらう職員も見られました。地域差にもさまざまな問題がありそうですが、大槻・逢瀬地区は1軒あたりの移動距離が遠いということです。街中では自転車での配達も考えられるのではないのでしょうか？

さて、今回は1世帯に菓子パン4つ・おにぎり1つ・カップ麺2つが市からの配給でした。それに加えて特養おつきからごはん2パックと缶詰2つを追加しました。早速配達に回ったところ今日は週末とあって、3日分の配達となります。「こんなにもらって良いのかい？」「食べるのがもったいないねえ～」など反応はさまざま。「買い物ができなくてありがたい」ということに尽きる様子ですが、実際は配給分も食べていない訪問先もあり、これからの食生活にも気を配って配食サービスを続けなくてはならない様子です。しかし、徐々に元々の配食業者が再開することもあり、かつ、地域の皆さんの声かけも物資の調達も見られる話もあり、今後安心できそうな場面も垣間見られました。そして、地域包括支援センターの職員はまだまだ地域をまわり巡る日々が続きます。



配給元にはパンが山積み。



夫婦分配達しました。

④ 今後の動きについて

◆県内野菜の50品種が出荷停止となり、厨房の方でも野菜の仕入れに大打撃を受けています。今後の献立に苦労します。

◆本日本市内特養の施設長会議を自主開催いたします。相双地区の被災者の受け入れに伴う地域の利用者(ショートステイ)が受け入れ出来ない現状や定数オーバーの受け入れの現状を確認し合う様子です。

●お知らせ●

- ①たてやま荘の利用者の方々が特養(東棟・西棟)へ移られてから3日目を迎えています。棟が違う中で久々に対面すると「どこに行ったって同じだ。お互いに頑張ろう」と励まし合っていることが見受けられました。いつ帰られるかわからない本人たちが一番つらいはずだと思うと胸が詰まる思いです。
- ②インフルエンザの流行が続いております。外からの感染を防ぐためにも出入りする職員の皆さん、一人一人意識を持って行動して下さい。
- ③ 職員の皆さんが加入している各共済への災害見舞金等の請求については、確認が取れ次第、後日各職場へお知らせします。
- ④ 念を押して、ガソリンの供給に関しては事務所の多勢までご連絡下さいませ。

発行：福島県郡山市大槻町西勝ノ木5・1

024-962-3939

施設長 菊谷 朗